

2022 (令和 4) 年 9 月 23 日(金)

第 12 回レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

爽涼の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥の御事とお慶び申し上げます。

第 12 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の「第 7 波」で On-site でのリアル開催が間際まで危ぶまれる中、無事に、去る 9 月 9 日 (金)・10 日 (土) に、恒例の一橋講堂で実施できました。講演者・招待者を含め、400 名以上もの参加者と 2 年ぶりに、Face-to-face で熱い議論をかわし、濃密な学術集会となり、盛会となりましたこと、衷心より感謝申し上げます。

特別講演では、澤 芳樹先生 (大阪大学大学院医学系研究科 教授、大阪警察病院 病院長)、川西 徹先生 (内閣府食品安全委員会 委員)、森 和彦先生 (日本製薬工業協会 専務理事) には、先生方ならではの「レギュラトリーサイエンスに関する貴重なお話」を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、13 件のシンポジウム、12 件の一般口演、27 件のポスター発表における座長、演者の先生方に深く感謝申し上げます。

革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業がスタートして 10 年という節目を迎えたこともあり、今回は、「レギュラトリーサイエンスを担う人材育成の現状と今後」というテーマで開催させて頂きました。本大会にて、大学教育、卒後教育、職場教育など、レギュラトリーサイエンス研究教育の現状と課題、人材育成の観点から、医学、工学、薬学、情報科学、統計学など、今後どのような人材が必要となり、そのためにはどのような連携が必要となるのかなど、議論が深まり、今後活かされるものと確信致しております。

学術大会の運営については、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策をしつつ、2 年ぶりに On-site でリアル開催することとなり、中垣俊郎先生をはじめ、事務局の先生方には大変なご苦労があったものと拝察しております。改めて御礼を申し上げます。また、私自身が不慣れなため、種々ご迷惑・ご不便をお掛けしたかと思ひます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最期になりましたが、皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。

第 12 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会
大会長 堤 康央